

やまが

平成28年6月1日 発行／山鹿市議会

市議会だより

第9号



平成28年3月22日撮影(平山地区)

この度の熊本地震により被災された皆さま、そのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

もくじ ▶ 議会基本条例制定!! P2
常任委員会審査と報告 P3~5
市政のここが聞きたい(一般質問) P6~P9
審議した議案と結果一覧・賛否表及び討論 P10~11
人事案件・議会の動き・ようこそ山鹿市へ P12

「山鹿市議会基本条例」を制定しました!

平成25年の改選から議員定数を20名に定めるなど議会改革を進めてまいりました。また平成26年には市議会に対する市民意識調査も実施し多様な意見の把握に努めました。市民に議会というものを理解してもらうこと、あるいは議会活動や議員活動を議員自らがもう一度見つめなおし、これからの議会のあり方についての議論を重ねながら、議会基本条例としてまとめました。

この条例を生かし、市政へのチェック機能を強化し市民の皆さんとともに考え、提案する議会を目指します。

※平成28年3月11日の本会議において、全会一致で可決されました。



議会基本条例6つのポイント

- 1 **市民参加の機会を充実します** (第2条、第5条)
 - ・多様な意見を把握するための場を設けます!

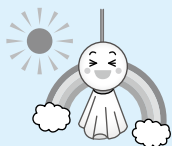
- 2 **適正な市政運営が行われているかチェックします** (第2条)
 - ・執行機関が行う行政運営を評価し、監視します!

- 3 **議会への関心が高まるような議会活動に努めます** (第2条)
 - ・わかりやすい視点、方法等を示していきます!

- 4 **議会報告会を開催します** (第5条)
 - ・審議結果等の市民への報告と意見交換を行います!

- 5 **市民への情報公開に努めます** (第5条)
 - ・本会議、常任委員会の原則公開と議会活動の情報公開も!

- 6 **議員間討議を充実し政策提言につなげます** (第10条)
 - ・活発な討議で市政の課題を明確化し政策提言へ!



山鹿市議会基本条例・前文

地方議会は、市民から直接選挙で選ばれた議員と市長とで構成された二元代表制のもと、緊張ある関係を保ちつつ、日本国憲法に定める地方自治の本来のあり方の実現を目指すものである。

地方分権において自治体の権限の拡充は進展してきたが、住民自治いわゆる身近な民主主義を実現するために、議事機関としての議会はこれまで以上にその責務を果たすことが求められている。

このため、山鹿市議会は、地域の人々が築き上げてきた歴史・文化、多様な地域資源などの特性を重視し、広域化した市域の課題の把握とそこに暮らす市民の様々な意見の反映に努め、議員間の自由な議論を展開しながら、政策立案及び政策提言を積極的に行う必要がある。

これまで積み重ねてきた取組を確かなものとし、議会及び議員の使命、役割、責務を自覚しながら、より一層市民の負託に応え開かれた議会とすることを決意し、ここに議会及び議員の活動原則等の基本事項を定め、議会の最高規範として、この条例を制定する。

附則	第8章	第7章	第6章	第5章	第4章	第3章	第2章	第1章	前文
21条～第23条	最高規範性を見直し手続(第20条)	議員の政治倫理、定数及び報酬(第18条～第20条)	備(第13条～第17条)	議会及び議会議務局の体制整備(第13条～第17条)	委員会等の活動(第12条)	議員間の活動(第11条)	議員間の関係(第6条～第9条)	市長等執行機関と議会及び議員の関係(第5条)	総則(第1条～第4条)

【条例の構成】

2中学校の屋内運動場(つり天井)が改修へ！

◆付託案件 議案 15件…可決

◆主な審査内容

■教育委員会関係

議案第2号 平成27年度山鹿市一般会計補正予算(第6号)

問

学校建設費(つり天井)山鹿中学校、米野岳中学校が対象と思うが、解体作業等の日程はどのようになっているか。

答

夏休みを挟んで予定したいが、学校と協議のうえ行っていく。

議案第30号 平成28年度山鹿市一般会計予算

問

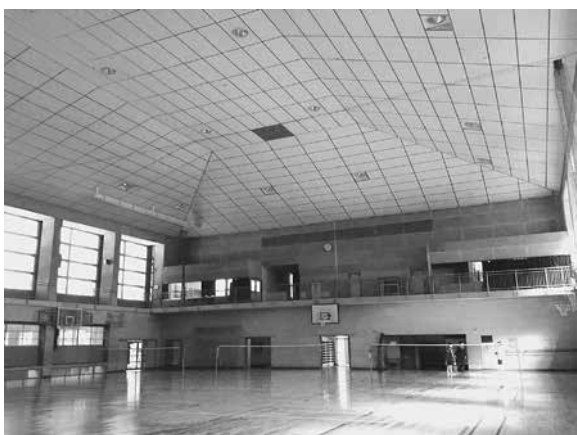
防災教育事業について、説明をいただきたい。

答

県社会教育課が文科省の委託事業として平成24年度から開いている事業で、7月31日から8月2日まで、米野岳中学校で開く予定。

問

病後児保育開設準備事業について、今回、三玉保育園に併設になる。他の保育園に対する今後の対応は。



山鹿中学校体育館のつり天井

答

今回整備を予定している三玉保育園と、公立の山鹿保育園に設置している既存施設の計2カ所を実施する。子ども・子育て支援事業計画においても2施設での運用を計画している。

問

子ども輝きプランについて、現在の不登校及び不登校気味は何名いるか。また、昨年と比べてどのような経緯になっているか。

答

本市の不登校生徒数は、2月末現在で16人。オアシスクラブ

問

に行けない子どもの家に出向く支援体制を2学期から始めていく。また、家族会を開催し、悩みを共有する取り組みも行っていく。

答

学校規模適正化事業(鹿本地区統合小学校)について、実施する側の教育委員会が、きちっとした方針を立ててもらわないと地域の方が心配する。平成30年4月開校に向けての決意を聞かせて頂きたい。

問

川辺地域活動拠点整備事業について、川辺小学校付近に川辺幼稚園と地区公民館がある。この施設については今後どのようなか。

答

廃棄物処理施設建設に伴う川辺地域振興策の一環として整備するものである。川辺幼稚園も含む旧川辺小学校校舎は解体し、川辺地区公民館は完成後の施設に機能移転後解体する予定。

■総務部関係

議案第30号 平成28年度山鹿市一般会計予算

問

市民交流センター管理費と庁舎管理費は一本化できないか。

答

庁舎は総務費、市民交流センターは教育費と、それぞれ目的別に計上している。清掃業務等の管理についても、開設日数・時間帯等が異なることや将来的な指定管理者制度導入を考慮し、各々別契約で行っている。

問

地域情報化推進費について、オフトークが平成28年度末で終了。やまがメイトの利用の進捗状況はどのくらいか。

答

3月7日現在の利用件数が849件。昨年の12月から本格的に運用を開始しているので、この間、一カ月当たり約300件のペースで増加している。

問

自主防災組織については、結成はされたものの、その活動が伴っていないのではないかと。活動の活性化を図る上で何が大事と考えているか。

答

活動の充実には、リーダー育成が大事と考えており、熊本県が実施する火の国防災塾を受講して取得できる「防災士」の資格取得にかかる経費10名分を予算措置して、平成28年度新たな取組として実施する。



いみ焼却処分場建設に向けて本格始動する！

◆付託案件 議案 16件…可決

◆主な審査内容

議案第30号 平成28年度山鹿市一般会計予算

問

移住定住対策としての空き家バンク登録、活用状況は。また利用者への補助制度等及び鹿本地域移住定住促進協議会はどのようなものか。

答

現在の登録は15件程。調査を実施し積極的に登録を促進する。市外から転入される世帯には改修、引越し、片付け費用の助成を行うことで移住定住促進を図



あいのりタクシー「鹿央キンカン号」

問

。協議会は、県と市が連携して、移住定住を促進するために設置し、主に情報発信を行う。予約制あいのりタクシーと路線バス運行費補助は今後どういう方向性でいくのか。

答

路線バスの運行維持は市民生活を支える基礎的なサービスの確保になる。あいのりタクシーは年間3万人を超える利用があり今後も継続していきたい。

問

肝いりどん事業の成果が上がっているか。

答

平成23年からこれまで10組結婚されている。お見合いの形を工夫したり、婚活イベントは、登録者以外でも男性は市内在住という条件付で、女性は市外からの参加も可能になるよう検討している。

問

市民センターで自家発電設備が無いところに設置するのか。

答

鹿北市民センターのみ設置している。他の市民センターにもすべて設置することになっている。

問

女性福祉相談事業について。相談は誰がどのように行っているか。

答

女性福祉相談員を福祉課に配置し、電話や相談室で相談に当たっている。関係する部署への同行など、他の職員も積極的に関与しながら支援している。

問

法改正により避難行動要支援者の名簿情報を警察、消防、民生委員等へ提供することが義務付けられたが、いつからか。

答

平成26年から本人の同意を得たうえで千人程登録している。平成28年に新たな登録者を確認、整備して平成29年中には提供する。個人情報保護には十分注意している。

問

障がい児及びその疑いのある子どもと家族に対して地域療育センター事業等があるがどのような内容か。

答

地域療育センターでは、療育相談員を配置し保育、教育、医療、福祉の関係機関との調整を行い、訪問療育や外来療育、保育所等への訪問指導を実施している。その他、放課後デイサービスなど障がい児通所事業の実施により、早期療育と保護者の子育て支援を行っている。

問

分別資源ごみは細かく分けているが、きちんとリサイクルになっているか。

答

それぞれリサイクルプラザなどできちんと処理されている。リサイクルにより売却したもの



分別収集風景（津留団地資源ごみ収集所）

問

は当市の負担金の軽減につながっている。

答

焼却処分場の建設費と内訳は。施設建設費は49億8千万円（上限）とし、循環型社会形成交付金が3分の1、あとは基金と起債を予定している。

問

不妊治療費助成事業について利用状況は。

答

平成28年2月末現在、22件の申請があり交付している。

問

18歳以下に任意のインフルエンザ予防接種の助成が始まったが接種率は。

答

平成27年度の目標は対象者の50%だったが、実績は42.78人が接種され、36.7%だった。

山鹿灯籠シヤパンブランド構想推進事業が始動するー！

◆付託案件 議案 25件…可決
◆主な審査内容

議案第2号 平成27年度山鹿市一般会計補正予算(第6号)

問 山鹿灯籠シヤパンブランド構想推進事業における山本寛斎アドバイザリー業務と予算について。

答 山本寛斎氏を千人灯籠踊りの演出に関する専属アドバイザーとし、月額150万円のアドバイザー料1800万円、また、今年開催の灯籠まつりにおける試行的取組に要する制作プロデュース料として500万円の計2300万円を計上しており、財源は全額国の地方創生加速化交付金を充てている。

議案第30号 平成28年度山鹿市一般会計予算

問 (道路維持補修について)

答 毎年、道路維持費を計上しているが、要望してもできない箇所がある。どのような事なのか。要望のあった箇所を調査し、優先順位をつけ整備している。

問 (サイン整備事業について)
サイン整備の事業箇所は。

答 バスセンターに1基、市街地に歩行者向け5基の設置を計画している。

問 最近海外からの観光客が増加しているが、サイン整備事業は外国語に対応しているのか。

答 中国語、韓国語、英語の標記で対応する。

問 (カルチャースポーツセンター整備事業等について)

答 カルチャースポーツセンター整備事業(用地造成)の予算であるが、どの様な造成を行うのか。市民スポーツセンターに一般廃棄物処理施設が建設されるため、優先してグラウンドとテニスコートの施設整備に向けた造成を行う。

問 カルチャースポーツセンターの二次計画の見直しをしたのか、また、プールはどうなったのか。

答 見直しによりグラウンドとテニスコートを優先的に計画されている。プールについては今後、教育部で検討されると思う。

問 (観光関係について)
観光客の受入態勢の整備として、まず取り組むものは。

答 さくら湯、山鹿灯籠民芸館に無料公衆無線LAN「WiFi」(ワイファイ)を設置する。

問 薬師堂の改修工事とは。

答 部材の交換や建具類を新調する。工期は6月から9月までとする。

問 (バイオマスセンターについて)

答 有機肥料供給施設管理費、1億4千万円の予算計上がなされているが、その内バイオマスセンターの管理費用は。

問 バイオマスセンターの管理運営費は、1億2百万程度である。内容は、維持管理費と平成27年8月の台風15号により被災を受けた液肥貯留槽の復旧を行うものである。また、老朽化した施設の一部改修も並行して行う。

問 液肥貯留槽のテント屋根を撤去するとのことだがどういう事か。

答 液肥貯留槽の安全対策としてタンク内の点検を行う。

問 臭気は大丈夫なのか。
臭気はないと考えているが、対策については今後、地元と協議をしながら慎重に対応していきたい。

現地調査

「山鹿灯籠民芸館」の改修工事現場、「熊本市道路線の認定の承諾」4路線について現地調査を行った。

- 1 「山鹿灯籠民芸館」について
改修工事の概要、主な工事内容及び工程について説明を受けた。3月18日竣工予定(3月10日に竣工)であり、その後展示作業等を行い、3月下旬には開館(3月29日に開館)の予定である。改修工事費は、約1億6百万円、財源は社会資本整備総合交付金44%、過疎債55%、残りが一般財源である。
- 2 「熊本市道路線の承諾路線」認定について
これはいずれも、熊本市が市の区域を越えて、市道路線の認定を行うもので、それを山鹿市が承諾する必要があるものである。



山鹿灯籠民芸館改修工事

市政のここが聞きたい!

インターネット録画配信をご覧ください。

山鹿市 ホームページ → 市議会 一覧 → 定例会の 様子

の順にクリックしてください。

質問 ふるさと納税について

- ① 平成20年度から平成26年度までに山鹿市にいただいた寄附の総件数と寄附金総額はどれくらいか。
- ② 全国では、返礼品を活用し、1億円以上の寄附金を集める自治体が多い中、山鹿市は、今後のふるさと納税の取組みについて、どのように考えているか。



富田弘海 議員

答弁: (①総務部長 ②市長)

- ① 平成20年度から平成26年度までの寄附の総件数は408件、寄附金総額は約2,110万円である。
- ② 平成27年には、税制改正により寄附控除の限度額が約2倍になり、確定申告も簡素化され、市民にとっても寄附しやすく、関心も高まっている。

今後もふるさと納税の寄附者が増加すると見込まれるなかで、返礼品の取組を行っている自治体と、そうでない自治体との差はますます大きくなる。

本市においても、他の自治体の取組みに負けられないように、山鹿市の魅力ある特産品等を返礼品として用意し、市外にお住まいの山鹿市出身の方はもちろんのこと、全国民に山鹿市をアピールし、寄附の増加を図る。

用意する返礼品については、農産物等の特産品をはじめ、本市の観光資源である温泉の宿泊券や、伝統工芸品の山鹿灯籠などを想定している。

本年は、地方創生「実働元年」である。地方創生の一助をなすものとして、このふるさと納税という制度を十分に活用することにより、全国に対し山鹿市の情報発信を行い、販路拡大や観光客の増加などの地域の活性化につながるように尽力していく。



ふるさと応援寄附金案内のパンフレット

質問 定住促進について

市長説明要旨の第3の柱「人口減少に歯止めをかける・定住促進を図る」ための具体的事業内容（企業誘致）について問う。

答弁:(経済部長)

定住促進を図るためには、若者などの雇用の場の確保は、大変重要と考える。そのため新たな企業の誘致と既存企業の支援に努めている。誘致の現状として、所有者の理解が得られた12カ所の民有地を企業立地の適地として優先的に紹介している。



池田誠一議員

質問 山鹿市のふるさと納税について

他市へのふるさと納税による当市の影響と事務処理の体制づくりについて問う。

答弁:(総務部長)

他市へのふるさと納税による本市の市民税への影響は、平成21年度から平成27年度までの7年間で、市民税控除額の総額が約725万円である。

事務処理の体制づくりについては、インターネットでの申込受付やクレジットカード決済の導入による利便性の向上とともに、一連の業務を民間の代行業者に委託することで、事務の効率化や経費の節減を図っていく。

質問 生活排水処理について

山鹿市全域における生活排水処理の現況とこれからの方針について問う。

答弁:(建設部長)

市全域の生活排水処理状況は、総人口に対する割合は、公共下水道が48.7%、農業集落排水が33.4%、合併処理浄化槽が15.6%である。

公共下水道の整備率は89.4%、水洗化率は75.3%、農業集落排水の整備率は100%、水洗化率は72.2%、合併処理浄化槽の整備率は83%である。

合併処理浄化槽については、通常の補助に加え平成31年度まで上乗せ補助により整備を図っている。今後も、合併処理浄化槽による生活排水処理の向上のため、広報紙、ホームページに掲載し、整備を進めていく方針である。



芹川正美議員

質問 TPP政策大綱について

- ① 国は、昨年10月5日にTPP（環太平洋パートナーシップ）協定交渉に大筋合意した。このことにより、県は対策本部を設置した。政策大綱の概要について伺う。
- ② 関税削減等による影響で価格の低下、畜産、米麦、果樹、園芸等農林業に対する影響について伺う。
- ③ 農水省は、TPP対策費3122億円計上。本市の農業の活性化、地域経済の支援策について伺う。

答弁:(経済部長)

① 政策大綱は、TPPの効果を国の経済再生、地方創生に直結させるために必要な政策及びTPPの影響に関する国民の不安を払拭する政策の目標を明らかにするものである。農林水産業への対策は、攻めの農林水産業への転換のための体質強化対策として、次世代の担い手の育成に向けて農業機械や施設の設備投資への支援強化や畜産・酪農の収益力強化などが柱となっている。

② 市への影響については、牛肉・豚肉・牛乳などの畜産物や水稻・麦、施設園芸などに大きな影響が出てくるものと思われる。熊本県の試算方法をもとに山鹿市の農産物への影響額を試算してみると、最大で約4億円の減少が見込まれると思われる。

③ 市の対策については、国のTPP対策事業を活用して、意欲ある農業者の経営発展を促進する農業用機械・施設等の導入を支援する「農業担い手支援総合対策事業」に約8,038万円を本議会、平成27年度補正予算としてお願いしている。今後も国、県の動向を注視し、生産者や関係機関と連携を図りながら、国のTPP対策事業を有効に活用していきたいと考えている。



平成27年度農業担い手支援総合対策事業で導入した「ロボット搾乳機」

質問 山鹿観光振興策山鹿灯籠ジャパブランド構想について

デザイナー山本寛斎氏とアドバイザー契約をし、オンリーワンブランドを目指して、灯籠まつりに変革を期待するものとは何かを伺う。

答弁:(市長)

ここ数年、宿泊者数の低迷や観光消費額の伸び悩みが続いていることから、観光資源の最たるもの「山鹿灯籠」をオンリーワンのブランドとして、観光業の成長産業化に向けての取り組みを強化する。

また、世界に唯一の日本が誇る、オンリーワンブランドの「山鹿灯籠」を山本寛斎氏の起用により一流なものから超一流なものへと磨き上げ、観光地山鹿の知名度を高め、域外から「ヒト」・「モノ」・「カネ」・「情報」を山鹿に呼び込み対流させ地域の活性化を図る。

さらに、構想を進めるうえで、これまで長きにわたり継承されてきた伝統は、しっかりと守り将来世代へ引き継いでいく一方で、時代背景の中で新たに採り入れるべきものは、灯籠師や灯籠踊り保存会、灯籠まつり実行委員会などから広く意見を聞き、市民の皆様との合意形成を図りながら丁寧に進めていく。

山本氏の役割は、デザイナーとしての専門的見地から、意見・アドバイスを求めるもので、新たな企画などについては、実行委員会等で決定したい。

目指すところは、「山鹿灯籠」、「山鹿灯籠まつり」に対する、市民の皆様への誇りや喜びが倍増され、ひいては、ふるさとを愛する気持ちが膨らむことである。



富丸洋一郎 議員



山鹿灯籠踊り保存会による灯籠踊り

質問 まち・ひと・しごと創生 山鹿市総合戦略について

- ① 地方創生（人口減対策）に懸ける市長の思い、具体的展開について伺う。
- ② プロジェクトの事業効果や推進していく上で最も大事なことは何か。

答弁:(市長)

- ① 地方創生の実現に向け、非常に強い危機感を持って臨んでいる。市民の皆様にもあらゆる機会を通してご協力を求めている。総合戦略の基本を「経済政策」と「人口政策」として進め、特に、①新養蚕産業構想、②菊鹿ワイナリー構想、③山鹿灯籠ジャパブランド構想を戦略創造プロジェクトとして推進していく。

- ② 新養蚕とワイナリーの構想が産業の核となり、加えて観光政策も複合的に取組むことで雇用創出、特産物販売額、観光消費額を増加し、交流人口の拡大も図り経済全体の活性化につなげる。また方向性を明確にし市民、事業者、行政など一体となった体制での取組みが最も重要だと考えている。



新養蚕構想＝小坂地区の天空桑園

質問 学校教育推進事業及び子ども輝きプランについて

平成24年度に鹿本教育事務所が廃止されたこともあり、研修や学校再編後の統合学校も含め学校経営に対する指導助言が必要と思われる中、学校教育指導員の廃止をするのはなぜか。また子ども輝きプランはどう充実してきたか。

答弁:(教育部首席教育審議員)

学校に対する指導助言は、学校教育指導室の指導主事や校長会に担っていただく。子ども輝きプランではサポートティーチャー、合理的配慮協力員の配置、外国から来た児童生徒に対する日本語指導を行っていく。

※他に、議案第30号 平成28年度山鹿市一般会計予算中「ごみ焼却施設の建設費」「サイクリングターミナルの今後の方向性」「学校規模適正化事業（鹿本地区）」に関して質疑を行った。



服部香代 議員

質問 雑誌スポンサー制度の導入と図書館のサービス向上について

- ① 財源確保並びに図書充実につながるとされる雑誌スポンサー制度の導入についての見解を伺う。
- ② 大型連休中の図書館の開館についての見解と図書館利用者へのサービスの向上は何か考えているか。



市民交流センター内こもれび図書館

答弁:(教育部長)

- ① 事例調査の範囲をさらに広げ、制度導入を前提とした調査研究を進めてまいりたい。
- ② 平成28年度は、利用者へのサービス向上を目的に「こもれび図書館」開館時間の試験的延長を計画している。大型連休中については、休館日を設けずに連続して開館を予定するなど積極的な取り組みを考えている。



北原昭三議員

質問 観光振興について

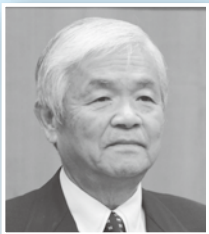
市内の中心に近い国道325線沿い、さくら湯付近に観光バス駐車場の検討並びに今後、外国人観光客も視野に入れた観光バスの駐車場についての考えを伺う。

答弁:(経済部長) 現時点では、新たな観光客駐車場の設置は難しいものとする。現行の豊前街道駐車場の利用については、市や観光協会のホームページ掲載等で情報発信を積極的に行う。
※この他にビジネスホテルの誘致について、観光施設並びに公共施設・防災拠点への無料公衆無線LAN「Wi-Fi (ワイファイ)」の設置状況についての質問を行った。

質問 あいのりタクシー「チョマツ号」について

昨年6月の定例会で、チョマツ号の週3日への拡大をお願いしていた。利用者の意向の把握の結果について伺う。また、今後のあいのりタクシーの運行体制についてどのように考えているか。

答弁:(市民部長) アンケートの結果、何らかの拡大を望まれている方が合計76.2%おられる状況となっている。各関係者の意見を十分に聞きながら総合的に判断し、持続可能な公共交通体系の構築に努める。



永田紘二議員

質問 鶴城中学校の現状と方向性について

生徒数や部活動の状況は。学校再編計画の前倒しの考えはあるか。

答弁:(教育部長)

生徒数は年々減少し、今年度は64人。中体連後はサッカー部と野球部が廃部、陸上部やテニス部など個人競技の部が活動している。計画の前倒しを視野に入れ、地域や保護者の皆様に丁寧に説明していく。

質問 山鹿市の歴史文化遺産の保護と活用について

- ① 文化遺産の保護と活用の現状は。
- ② 文化遺産を活用した観光のあり方について。
- ③ 地元資源を観光に活用するための組織体形の見直しの考えは。



国指定史跡「方保田東原遺跡」

答弁:(①教育部長 ②経済部長 ③総務部長)

- ① 本市の文化財は190件(国指定10件、国登録1件、県指定19件、市指定160件)。教育委員会としては、文化財保護法に則り、保存と活用の両立を図っていく。
- ② 文化財を観光面で活用することで山鹿の商品価値を高め、交流人口や宿泊客を増やし、地元経済の活性化につなげる。特に、菊池川流域の日本遺産認定に向け、関係市町とも緊密に連携していく。
- ③ 限られた職員数の中で、文化財の保存と活用を担う新たな組織の設置は難しいが、適材適所への配置や関係課間の連携強化に努め、全庁一丸となって地方創生の取り組みを深化・加速させていきたい。

平成28年3月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(山鹿市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認
議案第2号	平成27年度山鹿市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第3号	平成27年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第4号	平成27年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第5号	平成27年度山鹿市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第6号	平成27年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第7号	平成27年度山鹿市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第8号	平成27年度山鹿市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第9号	平成27年度山鹿市病院事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第10号	平成27年度山鹿市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第11号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決
議案第12号	山鹿市行政不服審査法施行条例	可決
議案第13号	山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第14号	山鹿市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議案第15号	山鹿市職員の降給に関する条例	可決
議案第16号	山鹿市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議案第17号	山鹿市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第18号	長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第19号	山鹿市火災予防条例の一部を改正する条例	可決
議案第20号	山鹿市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決
議案第21号	山鹿市税条例の一部を改正する条例	可決
議案第22号	山鹿市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第23号	山鹿市在宅高齢者福祉対策事業費用徴収条例を廃止する条例	可決
議案第24号	山鹿市鹿北ふれあい会館条例を廃止する条例	可決
議案第25号	山鹿市農村公園条例の一部を改正する条例	可決
議案第26号	山鹿市消費生活センター条例	可決
議案第27号	山鹿市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第28号	山鹿市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第29号	山鹿市公民館条例及び山鹿市民交流センター条例の一部を改正する条例	可決
議案第30号	平成28年度山鹿市一般会計予算	可決
議案第31号	平成28年度山鹿市国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第32号	平成28年度山鹿市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第33号	平成28年度山鹿市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第34号	平成28年度山鹿市介護保険事業特別会計予算	可決
議案第35号	平成28年度山鹿市簡易水道事業特別会計予算	可決
議案第36号	平成28年度六郷財産区特別会計予算	可決
議案第37号	平成28年度城北財産区特別会計予算	可決
議案第38号	平成28年度稲田財産区特別会計予算	可決
議案第39号	平成28年度稲田六郷財産区特別会計予算	可決
議案第40号	平成28年度山鹿市水道事業会計予算	可決
議案第41号	平成28年度山鹿市病院事業会計予算	可決
議案第42号	平成28年度山鹿市下水道事業会計予算	可決
議案第43号	財産の譲渡について	可決
議案第44号	財産の譲渡について	可決
議案第45号	財産の譲渡について	可決
議案第46号	財産の譲渡について	可決
議案第47号	財産の取得について	可決
議案第48号	損害賠償の額を定めることについて	可決

議案等番号	案 件	結 果
議案第49号	山鹿市過疎地域自立促進計画	可 決
議案第50号	市道路線の廃止及び認定について	可 決
議案第51号	市道路線の認定について	可 決
議案第52号	熊本市道路線の認定の承諾について	可 決
議案第53号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第54号	公平委員会委員の選任について	同 意
議員提出議案第1号	山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議員提出議案第2号	山鹿市議会基本条例	可 決
意見書案第1号	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書	可 決

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20	
議 案	服部 香代	富田 弘海	永田 健	稲葉 昇	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	太田黒鐵郎	丸山 寛治	寺崎 勇児	丸山 康昭	
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。(議長は採決には加わりません)

【主な議案及び審議・施策】

○平成28年度山鹿市一般会計予算

約280億5000万円
(前年度比△2・6%)

・ふるさと応援事業

約1720万円

ふるさと応援寄附金の増加傾向に対応し、地域資源(特産品等)を生かした取組。

・移住定住促進事業

約1499万円

移住定住の促進を図るため情報を発信し、受入れ環境づくりを行う。

・一般廃棄物処理施設整備事業

約2億1943万円

平成31年4月廃棄物処理施設の稼働予定に向け、敷地造成と施設建設工事の発注を行う。

・ワイナリー構想推進事業(戦略創造プロジェクト)

約8573万円

菊鹿ワイナリー建設構想の積極的支援「観光と農業の連携複合化」を目指す。

・新養蚕産業構想推進事業(戦略創造プロジェクト)

約8954万円

新養蚕産業をとおし、養蚕業の復興と遊休農地の解消、雇用の創出、地場産業の活性化を目指す。

反 対 討 論

丸山康昭 議員 ◎議案30号 平成28年度山鹿市一般会計予算

予算中、米野岳中学校区の小学校建設費に反対します。地域の枠組みや、現通学区区域を原則変更しないことを留意し、山鹿地区・鹿北地区・鹿央地区・鹿本地区と類別したのは、合併前の市町に1校ずつ置くという強い思いがあった。当初、鹿央地区では、小中連携等を考え米野岳中学校付近と説明。それを変更するにはそれなりの手続きが必要だと考える。米野岳中学校付近がなぜ不可能でなぜ米田小学校に決定したのか説明不足の結果が反対陳情や住民訴訟である。「鹿央地区に小学校を」「浸水想定地で子どもの安全確保が出来ない」との訴訟の判断を待つべきである。

※採決は、原案のとおり「可決」。

・カルチャースポーツセンター整備事業
約1億1000万円(用地造成)
約2500万円(設計業務)
緊急性のあるグラウンド、テニスコートの整備を計画。平成29年度完成を目指す。

議会の主な動き

1月

- 4日(月) 仕事初め式
全員協議会
- 8日(金) 広報委員会
熊本市議会議員研修会
- 10日(日) 消防団出初式・一斉放水
- 11日(祝) 山鹿市成人式
- 17日(日) 防災のつどい
- 19日(火) 台湾高雄市インバウンド研修(~22日)
- 25日(月) めのだけ小学校増築改修工事安全祈願祭
建設経済常任委員会協議会
百歳到達者表敬訪問
- 27日(水) 全員協議会
議会活性化特別委員会
- 30日(土) 鹿本地域植樹祭

2月

- 4日(木) 赤穂十七義士慰霊祭
- 5日(金) 議会活性化特別委員会
山鹿灯笼浪漫百華百彩オープニングセレモニー
- 6日(土) 山鹿市青少年健全育成大会
- 9日(火) 議会活性化特別委員会
市民福祉常任委員会協議会
- 12日(金) 山鹿市老人クラブ連合会芸能大会
- 14日(日) 山鹿隣保館文化祭
- 15日(月) 議会活性化特別委員会
議員研修会
- 18日(木) 議会運営委員会
- 19日(金) 台湾高雄市視察者歓迎会
- 23日(火) 水源感謝祭
- 24日(水) 総務文教常任委員会協議会
- 25日(木) 3月定例会開会
全員協議会
議会活性化特別委員会
- 28日(日) 城北小学校閉校記念式典
内田小学校閉校記念式典

3月

- 2日(水) 3月定例会質疑・一般質問
- 3日(木) 3月定例会質疑・一般質問・委員会付託
- 4日(金) 建設経済常任委員会
- 5日(土) 第4回鞠智城跡「特別研究」成果報告会
- 7日(月) 市民福祉常任委員会
建設経済常任委員会
- 8日(火) 総務文教常任委員会
- 9日(水) 議会運営委員会
- 11日(金) 議会活性化特別委員会
3月定例会閉会
全員協議会
- 14日(月) 市内中学校卒業式
- 18日(金) 広報委員会
- 20日(日) 第4回清浦総理顕彰あんずの丘マラソン大会
- 23日(水) 菊鹿地区3小学校卒業式
百歳到達者表敬訪問
- 24日(木) 市内小学校卒業式(菊鹿地区以外)
- 25日(金) 総務文教常任委員会
- 27日(日) 全国高等学校選抜自転車競技大会
- 31日(木) 全員協議会



議員辞職のお知らせ

太田黒鐵郎議員が体調不良のため、平成28年3月31日で議員を辞職されました。

(通算23年7カ月議員として活動して頂きました。)

【人事案件】

〈教育委員会委員〉

市長から提出された「教育委員会委員の任命」については、次のとおり同意しました。

山鹿市津留 上田三貴子 氏(新任)

〈公平委員会委員〉

市長から提出された「公平委員会委員の選任」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿北町 月足 朱實 氏(新任)

行政視察

ようこそ山鹿市へ

- 1月13日 佐賀県唐津市 菊鹿新庁舎建設の概要について
- 1月26日 愛知県常滑市 認知症地域支援体制の構築事業について
- 2月5日 福岡県久山町 市立かおう保育園について

編集後記

まさかの事態でした。自分の中で、どうとなく、大きな地震は、違う地域での出来事と考えていたように思います。

高校時代の同級生も被害にあったとのこと、一週間くらい(最初の揺れから)経ってから訪れてみましたが、愕然としました。また、移動の途中、道路の状況もですが、その両側で倒壊している家屋を目の当たりにすると、自然災害の脅威を強く感じてしまいました。

我が市では、場所によっては落石・瓦の落下等が発生しています。まだ終息してはいませんが、いつ・何時災害が、自分の身に降り注ぐかわかりません。最低限の心掛け、準備が必要と考えます。もう少し落ち着いたら、今後、自分に出来ることをやっていきたい思います。

広報委員長 吉本政幸

